

総務常任委員会記録

平成30年10月9日(金)午後1時58分～午後2時30分(9階908会議室)

○出席委員(8名)

委員長	小松 良行	副委員長	阿部 亨
委員	萩原 太郎	委員	羽田 房男
委員	小野 京子	委員	土田 聡
委員	粕谷 悦功	委員	宍戸 一照

○欠席委員(なし)

○議題

所管事務調査「広報政策に関する調査」

1. 参考人招致について
2. 行政視察について
3. その他

午後1時58分 開 議

(小松良行委員長) ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

初めに、参考人招致についてを議題といたします。

正副委員長手元で参考人招致の案を作成いたしましたので、ご説明をさせていただきます。お手元に資料ございますね。参考人招致に関する調査の内容案。

まず、参考人についてでございますけれども、以前の委員会で皆様のほうからいただいたご意見で、マスメディア関係者など広報に通じている方といったご意見がございました。また、当局の説明後の意見開陳におきましても、当局の行っている広報の中でもとりわけテレビの広報に関するご意見が多かったため、テレビ局の方に参考人としてお越しいただいてはいかがかと考えました。そこで、参考人については福島テレビの営業部長並びにメディア戦略部長の両名にお越しいただいてはいかがかと考えました。福島テレビにしたのはなぜかというようなことなのですが、他のテレビ局と同様に本市の15秒スポット番組や5分放送をしておりますが、中でも5分番組につきましては福島テレビに依頼し作成した番組を他の局でも放送している、これらの番組制作に関するお話をいただくことが可能となる唯一の局であると、このようなことであります。そのために福島テレビの方にお越しいただき、聴取項目の内容についてお伺いしたいと考えております。

次に、調査の項目でありますけれども、テレビ等マスメディアを使用した自治体広報についてとし

て、福島市以外の他市や県などのテレビなどを利用した広報の取り組みについて、福島テレビにおける各時間帯ごとの放送料なども含めてお話しいただければと思います。

次に、マスメディアから見た自治体広報として、他自治体における事業などの取材依頼の事例などを通じ、マスメディアに取り上げられやすい情報発信の仕方について学べればと考えました。以上の2項目で現在の市の広報と他の自治体の取り組みの比較を含めた現状把握を行えればと考えております。

最後に、(3)でありますけれども、マスメディアとして放送する上での留意点についてということで、情報伝達のプロであるテレビ局として、視聴者に伝える上で心がけていることについてお伺いをし、市の広報にも取り入れられる参考となることがあればお伺いしたいと思っています。また、市の広報でも課題となっております効果の検証について、テレビ局としてどのようにしているのかも伺いたいと考えました。

以上が聴取項目となりますが、大きな3番、参考人に戻りますけれども、これらの項目についてお話しただけの方として福島テレビに打診をいたしましたところ、これまでの報道など他部署の経験も踏まえて、記載のお二人であればご対応いただけるという内諾をいただいたところでございます。

日時に関しましては、当初は10月の16から18日の間での開催を検討しておったところですが、ご承諾いただくのにいささか時間を要したことなど、また参考人招致にあたって、参考人側もいろいろ資料や打ち合わせの中では、できればビジュアルで見せたりとかというふうなものをつくってみようかなどと非常に意欲的なご意見などもある中で、準備時間にいささか時間を要するということから、この16から18で日程のおとりおきをいただいておりますけれども、困難であろうということから、11月の視察終了後に日程調整をした上で、改めて正式な日程についてはお諮りをさせていただければというふうに考えたところであります。

正副委員長としてはこのような内容で参考人の招致をしてはいかがかと思ったところでございますけれども、皆様のご意見を賜ればと思います。ご意見のある方はご発言ください。

(**宍戸一照委員**) 17日はキャンセルということね、当初予定の。

(**小松良行委員長**) 後ほどこの後の日程を調整するにあたり、そこもちょっと予備日とせざるを得なく、その後にお諮りをしたときにそこが外れれば外れということで、今のところ参考人招致はなくなったということでご理解いただければと思います。

(**宍戸一照委員**) 17日はなしね。

(**小松良行委員長**) はい。

そのほか何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(**小松良行委員長**) なければ、参考人招致についてはそのように進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

次に、行政視察を議題といたします。

行政視察候補地案をごらんいただきたいと思います。前回お諮りした3カ所に加えて、(2)、静岡県磐田市を候補地として加えさせていただいております。大都市部ばかりになってしまったことから、規模の小さな自治体ということで、磐田市はご案内のとおり17万人の都市ということで小規模な自治体であります。本市同様、広報担当課においてプロモーションを所管しております、平成29年にプロモーションも含めた広報戦略プランを改訂しております。そのプランを見ますと、当局説明でも課題として上がりました各課情報の一元化、また広報効果の検証などについても取り組むとされているようです。シティープロモーションについては、今回その前に視察します岡崎市などのような大きな積極的な取り組みとまでは至っていないようにも思われますが、本市と同じく広報担当課においてのシティープロモーションを行っている事例としては、その取り組み事例とあわせて課題、他の部署との連携体制などについてお伺いしてはいかがかなというふうに考えたところです。

今説明した磐田市を含めて計4カ所の視察となりますが、この裏面のほうをごらんいただきたいと思うのですが、後段の部分です。想定 of 行程ということで記載してございますけれども、初日は11月7日出発ということになります。時間は、今電車を見てみますと、8時46分ごろ出ればちょうど午後からの岡崎市の視察が可能となり、その日のうちに磐田市まで移動して、磐田市で宿泊をする。2日目は、午前中に磐田市を視察し、お昼を挟みまして、今度杉並まで上ってまいります。杉並の行政視察を終えて八王子、これは磐田市に宿泊して、次の日に磐田市を視察して、移動して次の日に行き、八王子市に行って宿泊をして、3日目は八王子市を視察し、その後福島に帰ってくると。9日は、八王子市の視察でスタート。そうしますと、もう昼ごろ帰ってこられるのではないのかというふうに思ってしまう方もおいでかもしれませんが、ちょうど視察を終えて東京駅に着くころにはお昼どきになっていますから、昼食を済ませて、直ちに午後の列車で帰福すると。そうすると、到着は午後3時30分ぐらいになるのかな、このような想定でおりました。詳しくは今後しっかりとした行程表を策定の上、皆様にご案内するときにご案内させていただければと思っておりますが、正副としてはこのような内容で行政視察を行いたいと思います。

皆様のご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

(宍戸一照委員) あとは磐田市を加えていただいたことは、前回の要望もございまして、大変ありがたいと思いますので、この案については異議ございません。

(土田 聡委員) 私は車椅子なので、多分参加できないと思うので、参加しませんので。

(小松良行委員長) 承知しました。

(萩原太郎委員) 私この間ちょっとお話をさせていただいて、土田さんからご意見もいただいたし、粕谷さんのほうからもいろんな意見いただいた件で、非常にいい視察というふうなことで、担当課のというふうなことは打診とか何かされましたですか。

(小松良行委員長) この後お諮りしたいと思います。

では、このような視察内容で進めさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

それで、ただいま萩原委員のほうからもありましたけれども、今回の視察に関して、前回の委員会の中で当局職員の同行も検討してはいかがかというご意見もございました。正副委員長といたしましては、それであれば正式に当局へ同行の依頼をいたしてみてもはいかがかなと思っておりますけれども、当局への依頼をしていいか、委員の皆様方にご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

(土田 聡委員) 必要ありません。

(萩原太郎委員) 私は、一番実務的なところをやっているというふうなことで、私たちが幾ら聞いてそれを担当課のほうに言ってもなかなか見てきたようには、聞いてきたようには伝わらないというふうに思っておりますので、同行するのがいいというふうに私は思っております。

(土田 聡委員) 一緒に行ったら議員の使いっ走り、職員の本当に身になるかといったら身にならないでしょう。

(萩原太郎委員) いろんな意見あると思います。今セクハラとかパワハラとかいろんな問題があるかもしれないけれども、それ問題あるから、避けるというような考え方はなかなか進まないというふうに思いますので、いろんな問題をクリアしていくのが私はいいいというふうに思っております。

(土田 聡委員) それは議員から見た議員のひとりよがりだ。

(萩原太郎委員) あと皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

(土田 聡委員) 当局は当局で視察しているのだから、それでいいと思います。もしあれだったら採決とって。

(粕谷悦功委員) 議会として当局に行っていた方がいいのではないか、あるいは行く必要ないのではないかという判断を議会自身がして、議会がしたからといって当局が行く、行かないではないのだね。だから、要請をかけて、当局が判断して、当局がその中で今回辞退しますということだったら辞退してもらったらいいいし、あるいは同行させていただきますよということであれば同行させてもらえばいいというふうに思うのだね。だから、そもそも委員会で当局が視察をする必要ないという状況にはなっておりませんので、議会が判断して、当局に判断を仰ぐ、結論を仰ぐということになっているので、それはあと当局が判断をしてもらうような対応を議会としてとるべきではないかなというふうに思うのです。

(小松良行委員長) 正副としましても、当局のほうも要請があつて初めて行くか行かないかを判断するという事なので、まずはこういった視察があるのですけれども、いかがですかと振らない限りは動かない、行きたいとかといっても行けないというので、判断を向こうに仰ぐと、向こうの当然予算もありましょうし、当然派遣する委員も無理強いするものではありませんので、お声かけいただかない限りは向こうからも行きたいとは言えないと、そういう環境もあることから、投げかけだけというか、とりあえずはこういう……

(土田 聡委員) 要請も必要ありません。採決とって。

(小松良行委員長) ただいま土田委員のほうから採決により決すればということでご案内がありましたけれども、では採決……

(羽田房男委員) 私は採決まで、私は粕谷委員がおっしゃるようにそういうような手続きというか、それは存じ上げませんでした。前回の常任委員会の際にそういうような形で当局の同行に関してはこうなのだよと、今回もそういう説明をしていただいたので、それは採決ではなくて了承ということで、粕谷委員が私たちの前に議員で仕事をされておりましたので、私はわかりませんが、当時からそういう慣例であるならば、採決までしてということにはならないので、それは土田委員のほうで了承していただいて……

(土田 聡委員) いや、それは了承はできない。採決しなかったら俺は退席。

(羽田房男委員) いかげんものかな。採決までとってやるものだろうか。

(宍戸一照委員) 委員会の意見が分かれた場合は、決めるのは採決しかないわけだから、土田委員もおっしゃるとおり採決で決めるしかないと思います。

(羽田房男委員) 先ほど粕谷委員がおっしゃったようなことは存じ上げているわけですか。今までこういうことで当局の同行についてはということ、これは……

(土田 聡委員) 私粕谷さんより前やっていたのね。

(粕谷悦功委員) いなかったのだ。

(羽田房男委員) わかりました。結構です、それで。わからなければわからないで。私は全くわからなかった。宍戸委員がおっしゃるように、委員会ですから、そういう意味では採決をとって、残念ですけども、了承していただけないということであればそれは仕方がないのかなというふうに思います。これは意見でございます。

(小野京子委員) こちらが要請しないと当局のほうも考えることもないので、やっぱり要請してみるという粕谷委員の意見もわかると思いますので、どうしてもご理解いただけないなら採決になることもあるかなと思います。

(小松良行委員長) ただいま各委員からお話をいただき、またこれまで常任委員会開催までの間正副、また事務方と協議の中で派遣依頼をすればいかがかということでは意見の分かれるところではありますが、とりあえず投げかけてみないことには当局の参加はしたくてもままならないということから、とりあえず当局のほうにはこういう視察がありますよと、ご一緒してはいかがかという投げかけはすべきでないかということで進めていきたいと考えております。ただいま採決によりということでお諮りすることがいかがかというふうに思っておりますが、各委員からのご意見によれば、正副も含めてそうですけれども、当局への派遣依頼をしていくということを進めていきたいと思っておりますので、何とぞご理解をよろしく願いをいたします。

(土田 聡委員) 委員長、採決しないの。

(小松良行委員長) 今一人一人ご意見をいただく中で、当局派遣依頼をすべきのほうは圧倒的に意見

が多いと、このように判断をさせていただいた……

(土田 聡委員) 採決しないのだったら退席します。

(小松良行委員長) では、土田委員が退席いたしますので、しばらくお待ちください。

午後 2 時 19 分 休 憩

午後 2 時 21 分 再 開

(小松良行委員長) 再開いたします。

先ほど申し上げましたとおり、それぞれからの意見の開陳をいただきましたところ、大方皆様方からは職員の派遣依頼をすべきというふうなご意見でございましたので、そのようにさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) ご異議ございませんので、そのようにさせていただきます。

また、前回お示した自治体への要望事項なども含めて全て、このペーパーにもありますけれども、質問項目なども含めて、全体を通して何か皆さんのほうからご意見はございませんでしょうか。もう一度確認をしてみてください。新たな視察先も追加されました。特に磐田市は、先ほども申し上げましたけれども、各課情報の一元化の推進というようなことで、どのように一元化を図っているのかといったところは非常に参考になるのかなど。今うちの組織体系を見たときの課題なども見えてくるのかなといった点、あとシティープロモーションについての取り組みも行っているようですが、広報課のほうでやっているという点ではちょっと他市とは違うので、しかしながらやっぱり他市との比較からすると、あくまでもこれは臆測でありますけれども、大都市部と比べれば少し脆弱感は否めないのかなということでもあります。この広報の効果の検証というところで一応掲げておりますので、どの程度実績として、あるいは今後の課題として捉まえているのかを聞くのにはよいのではないかと考えたところでありましたが、何か皆さんのほうからございますか。

(宍戸一照委員) 磐田市は、先ほど申したように、ジュビロ磐田の本拠地でもあるし、ヤマハ発動機の本拠地でもあるから、そういう部分においては、逆に言うと小さい規模ではあるけれども、しっかりと広報戦略というのは練っているのではないかと思います。なので、的確なセレクトかなというふうに理解するところです。

(小松良行委員長) ほかにございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) ないようでしたら、行政視察についてはこのように進めさせていただきたいと思えます。

(3) のその他を議題といたします。

次回の委員会ですが、今後調整させていただきます参考人招致についてや行政視察の最終確認など

のために、10月にもう一度委員会を開催したいと考えております。手帳をお開きいただければと思います。委員長、副委員長のほうで考えましたのは、10月26日、この日は農学類議連が午前中に開催されますが、この日の午後の開催ではいかがかと考えました。皆さんご都合がよろしければ、10月26日13時30分から開催してはいかがかと考えておりますが、日程いかがでしょうか。

(粕谷悦功委員) だめなのだよな、26。

(萩原太郎委員) 午後1時半、都合ございます。

(小松良行委員長) もしこの日が調整不調となれば、残されているのが過日、本来であれば参考人招致をすべきであった、ここは皆さん日程あけてあるはずなので、すぐ来週ぐらいの話になってしまい

(宍戸一照委員) 何時からですか。

(小松良行委員長) 1時半からです。大丈夫ですか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、そこで組ませていただきます。そういうことで、先ほど日程チャラにするのかということでもちょっとちゅうちょしたのはそういうことで、では10月の18日午後1時半からを次回委員会の日程といたしたいと思えます。よろしくご参集お願いをいたします。

なお、退席されました土田委員にはその旨お伝えをさせていただきたいと思えます。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか委員の皆さんから何かございますか。

(羽田房男委員) 参考人招致の日程の関係なのですが、いつごろ、実は私も東京出張とかあるものから。

(小松良行委員長) 今あくまでも想定なのですけれども、これからの段取りとなりますと、12月議会が今度ある、その前であいている時間で調整を図りたいというふうに考えています。

(羽田房男委員) そうすると、25の週というか、26の週といいますか。11月の26日月曜日の週でということですか。私14と19と20日がだめなものですから。

(小松良行委員長) 皆さんのほうからもう一度、今なら調整可能なので、もう一度羽田委員が。

(羽田房男委員) 個人的なやつですが、14、19、20日がだめです。ここはちょっと東京のほうに行かなくてはならないので、そこだけは外していただきたいなと思ったところです。

(小松良行委員長) 一応希望として承ります。

ほかにはありますか。

(萩原太郎委員) 21、22を避けていただければありがたいです。

(小野京子委員) 14、15、16避けてもらっていいですか。

(小松良行委員長) これ以上は聞きません。聞けば聞くほどやる日がなくなってきそうなので、一応そういうことでただいまのご意見はなるべく尊重はさせていただきながらも、議会日程等々を置きながら、その後日程調整を図って、皆様にまたご連絡を差し上げられればというふうに思っております。

正副のほうからは以上なのでございますが、そのほかに皆さんからございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) なければ、それではこれで総務常任委員会を終了いたします。ありがとうございました。

午後 2 時 30 分 散 会

総務常任委員長 小松 良行